

# 超音波内視鏡を導入しました！

北出病院 内視鏡センター

超音波内視鏡検査とは、先端に小さな超音波(エコー)がともなった内視鏡で、消化管(食道、胃、十二指腸、大腸)のなか(内腔)から超音波検査を行います。体外から行う通常の超音波(エコー)検査に比べ、胃や腸内の空気や腹壁、腹腔の脂肪、骨による妨げもなく、より精密な検査が可能です。

## <対象疾患>

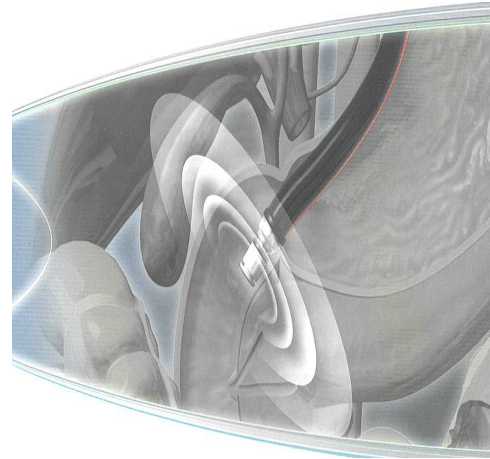
食道腫瘍、胃腫瘍、胃粘膜下腫瘍、大腸腫瘍、胆嚢腫瘍、胆嚢ポリープ、総胆管結石、膵腫瘍、膵嚢胞、膵炎

## <検査目的>

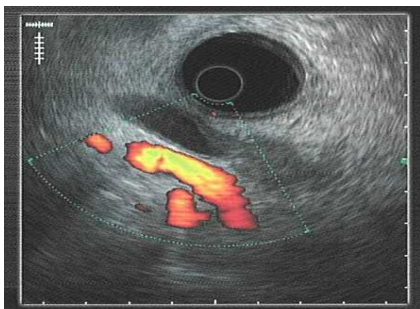
腫瘍の性質、良悪性の鑑別、深達度(浸潤の程度)、リンパ節転移の有無など

## <検査方法>

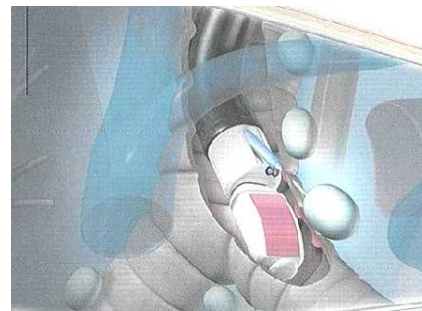
通常の上部および下部の消化管内視鏡検査に準じます。



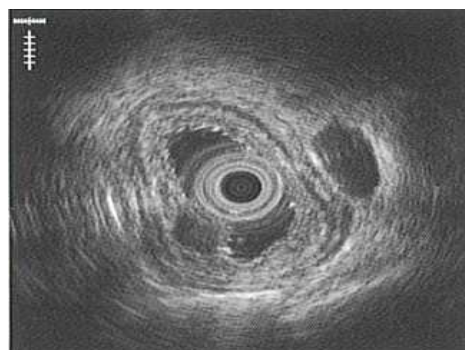
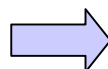
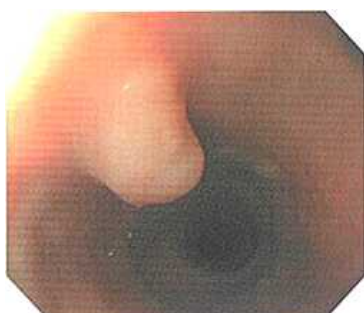
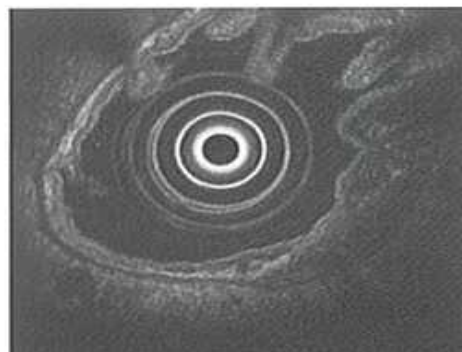
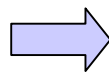
## <超音波内視鏡の画像>

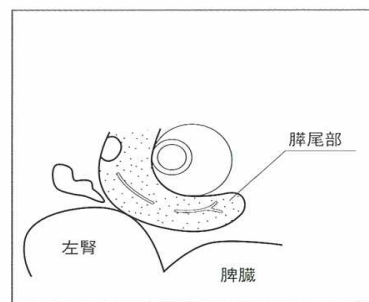
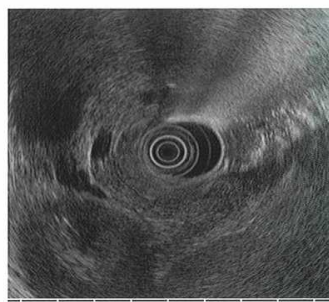
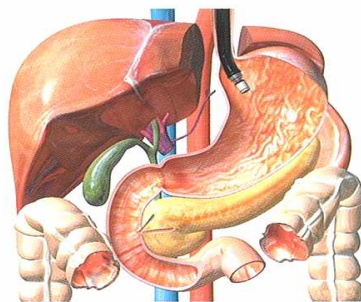
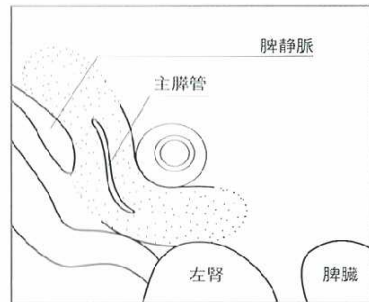
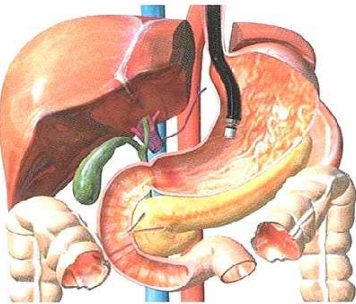
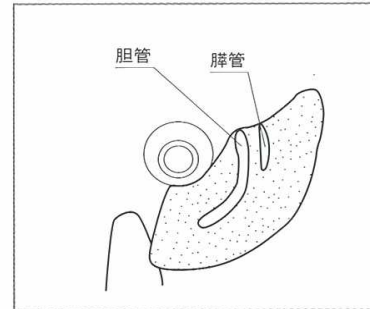
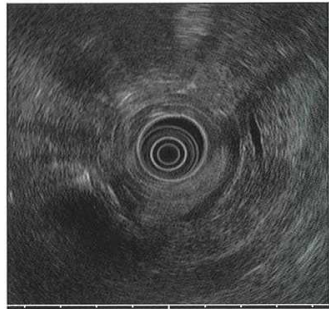
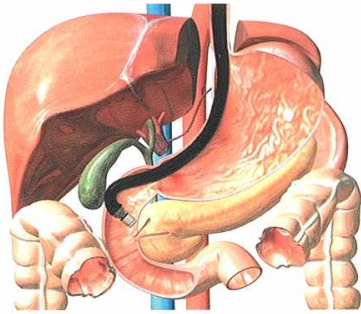
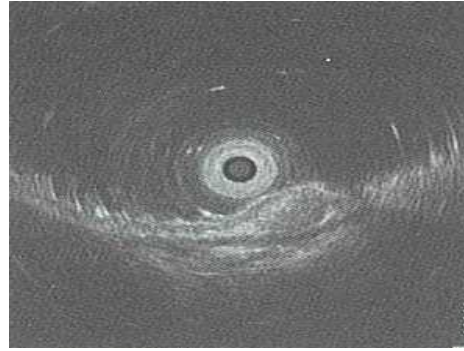
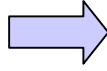
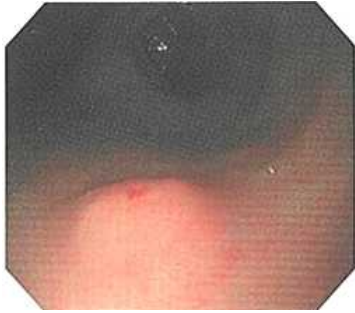


ドプラ機能により血管の有無を視認



超音波可にて穿刺も可能





膵周辺のリンパ節腫大の有無を確認するには

